



川島 佳輔さん(29)
珠美さん(29)
＝水沢区東大通り一丁目＝

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

水沢駅東口から徒歩2分の場所「Cafe & Living UCHIDA」。額縁店だった場所をリノベーションして、カフェと託児所を営むのは佳輔さんと珠美さんの夫婦です。共通の友人を介して二人は出会い、平成25年11月に結婚。長男の空君(3)、長女の海ちゃん(1)との4人暮らしで、支え合って仕事と子育ての日々を過ごしています。7年程前、二人の交際が始

まって間もない頃、佳輔さんは世界一周の旅に出ることを決断します。「世界のさまざまな国へ行って、文化の違う人の暮らしを見たかった。外の世界を知りたかった」と1年間旅をしました。「訪れた国々から必ず送られてくるポストカードをとて楽しみにしていました」と話す珠美さんです。

「多くの世代、たくさんの人たちに喜んでもらえたら」との思いで託児所にカフェを併設した佳輔さん。「子育てで忙しい人やリフレッシュしたかった人たちから喜ばれています。自分も働くことができるこの空間を考えてくれたことに感謝しています」と保育士の資格を持つ珠美さんは語ります。

「たくさんの方が同じ場所に集まり、昔のようにまचぐるみで子育てをする景色が見たい」と二人は同じ夢を語りました。



阿部 美結羽さん
(江刺区・大田代小学校6年)

Interview

夢トーク

将来の夢は「建築士」

——学校での役割は？

生活委員会の委員長です。風邪がはやってきたので、手洗いやうがいなどのポスターを作成して予防を呼び掛けています。

——普段、どんなことをして遊んでいますか？

友達と鬼ごっこやカードゲームをして楽しんでいます。

——小学校生活の思い出は？

友達と家族ぐるみで盛岡に行ってキャンプしたこと、江刺甚句まつりに田原中学校との合同チームで参加して踊ったことが楽しかったです。

——好きな動物は？

キツネとヘビです。ヘビは何度も見ているうちに慣れてきて、かわいいところもあります。

——中学校へ進学したら、やってみたいことはありますか？

バドミントン部に入りたいです。テレビで見たダブルスの試合に感動しました。

——将来の夢を教えてください。

建築士です。小さい頃から物を作ることが好きで、自分で設計して紙工作をします。いろいろ勉強してみんなが想像できないような建物を造りたいです。

青春讃歌

水沢佐倉河剣道スポーツ少年団 (スポーツ少年団)

- ◎団員数 13人
- ◎指導者 石川 健児 さん
- ◎指導者 藤澤 孝志 さん
- ◎団長 大坂 一輝 君(水沢中2年)



基本をしっかり身に付け、大会では一本を

水沢小学校と佐倉河小学校の剣道スポーツ少年団が平成22年に合併して誕生した水沢佐倉河剣道スポーツ少年団。小学生9人と中学生4人が一緒に活動しています。

小学生で防具を着けている団員はまだ3人。5人制の団体戦では毎回不利な状況でも、めげずに前向きに稽古を積み重ねています。「団員たちは声を出し合い、基本を身に付けるための練習を頑張っている。まずは水沢地区の大会で優勝したい」と思いを話す指導者の石川健児さんです。



練習でもしっかり声を出し合う

混じって練習することで、小学生は目上の人に対する礼儀が備わってきました。「小さい子を相手にする練習や指導をすることで自分のフォームを振り返ることができ、先輩としての自覚も出てきた」と話す団長の大坂一輝君。中学生は学校での部活動のほかに少年団活動で自身の技を磨き、来年中総体では上位の成績を目指します。



先輩からの指導を受ける団員たち

同少年団では団員を募集中です。「子どもたちは伸び伸びと練習しています。授業では体験できない剣道を一緒にやりませんか」と呼び掛けました。

◎団員を募集中 <http://m.facebook.com/mizusawasakurakawa.kendo/>



朝夕冷え込む季節になりましたが、お元気に過ごすごでしょうか。

男女の出会いと結婚までを支援する「iーサポ奥州」がメイプル2階にオープンしました。この施設は、県などが運営する施設で県内3カ所目、県南地域では初となります。忙しくて出会いが少なく感じている人にはピッタリです。しっかりサポートされますので、安心してご利用ください。

本市の作付けが県内一となる県オリジナル水稲品種「金色の風」の全国販売が始まりました。「金色の風」は県が独自に開発した世界レベルの遺伝子解析技術を駆使し、おいしさを極限まで追求しています。関係者、生産者の熱意でデビューした「金色の風」が多くの人たちに好まれ、全国の食卓に並ぶことを望みます。

先月、本市など4市でつくる茶文化プロジェクトで、市の南部鉄瓶や各都市特産の最高級茶葉や茶器を詰め合わせた「セレクトセット」を伊勢神宮に奉納してまいりました。南部鉄瓶の販売促進と茶文化の振興を図ってまいります。

先月、都内の企業に本市をPRし企業誘致に結び付けるイベント「おうしゅう首都圏産業交流会」を開催しました。首都圏や東北主要都市からのアクセスが良好で、ILCの誘致が切望される魅力あふれる本市を、参加いただいた企業に紹介しました。今後このような交流会を積極的に行い、企業誘致に結びつけてまいります。

奥州万年の森メガソーラー太陽光発電所が完成しました。奥州万年の森の有休地を民間企業に20年貸し出し、総額5億円を超える収入を生み出すほか、年間4800世帯分の発電をします。有休地の有効活用とクリーンエネルギーの普及を積極的に進めてまいります。

奥州市長 小沢昌記